

特別講演

テーマ 地域力を結集したまちづくり
～湯梨浜町の天女によるまちづくり～
講師 鳥取県知事 平井 伸治さん

○中本企画課長

それでは、これよりお二人のご講演を賜りたいと思います。

まず、特別講演「地域力を結集したまちづくり～湯梨浜町の天女によるまちづくり～」と題しまして、鳥取県知事 平井 伸治さまよりご講演をいただきたいと思います。

魅力ある地域づくり、まちづくりに必要なものは何か、それぞれの立場で実践活動に生かせるヒントをつかんでいただければと思います。

それでは、平井知事さま、よろしくお願いいたします。

〔講演〕

皆さま、こんにちは。本日は、天女にちなみました地域づくり、人づくりのフォーラムが、本当に盛会裏に開催されておられますこと、心からお祝いを申し上げます。先程は、新しい天女のキャラクターが決まったそうございまして、私も先程、舞台の袖で初めて見せてもらいましたが、まあ何とハワイアンな天女ができたものでありまして、湯梨浜町は色々な素材がございまして、考えてみますと温泉もあれば、それからきれいな東郷湖という湖もございまして、海の方にも石脇の海岸、泊の浜、そうした雄大な日本海の自然もあります。食べ物も美味しい二十世紀梨もあれば、或いはスイカであるとか、ブドウであるとか、海の幸、山の幸、海からはイカも揚がれば、様々な魚介類、岩ガキなどもある。そんなような色々な素材がある訳でありまして、本当にそこで色々な活動が行われています。



最近、とても国際色が豊かになったなと思いますね。中国庭園とか言って中国なんですね。そうかと思えば、アメリカのハワイだと言ってみたり、ノルディックウオークとか言って何か北欧が出てきてみたり、何だか忙しい訳ではありますが、それぐらい色々なアイデアで、彩りが豊かなこちら湯梨浜の町が出来上がってきていると思います。皆さんと一緒にそんな魅力を確認し合いながら、この後、町長さん

とか、山崎先生であるとか、三津国さんとか、野津先生だとか、皆さんで色々お話をされるということでございます。そういうような話し合いの一つの枕として聞いていただければありがたいかなと思います。

こちらにございますように、東郷湖は非常に夜、美しいですよ。私も家族で時々、ほとりの旅館さんに泊りに来ることがあります。一軒だけではなくて数軒、行ってみたりする訳であります。夜、少しく薄暗くなってきましたと、湖に街の明かりが照らし出されたり、また、ちょうどそうですね、夕方着いたところだとか、結構、白鳥とかですね、カモであるとか、そうした水鳥たちが出迎えてくれたり、本当に詩情豊かなところな訳です。だから、天女の伝説もここにふさわしいのかなというふうに思います。「こころなき身にもあはれはしられけりしぎたつ沢の秋の夕暮」という歌があります。西行の歌でありますけれども、おそらく天女というのは何かというと、水鳥たちと関係があるのかなと自分には思えることがあります。羽衣という、羽根の衣というのもそうなのかもしれません。野津先生が詳しいお話をされるんだろうと思いますけれども、私もそういう色々な想像の羽根を膨らますことができる、それが羽衣伝説なんだろうと思います。元々、鳥と結び付いた伝説ではないかということも言われている訳でありまして、鳥取県のみならず、世界中にこの羽衣伝説が広がっています。沖縄なんかにもあるんですね。随分、気候が違うように思いますけれども、本当に沖縄もそっくりなストーリーですよ。宜野湾市の辺りにそうした羽衣伝説があるんです。あちらもやはり、川辺で水浴びをしている天女の羽衣を隠して、その後、子どもを儲ける訳ですよ。やっぱりよく似たような話でございまして、その後、隠し場所がばれまして天に昇っていく訳です。残された子どもが沖縄で出世をすると、そういう物語になっているんですね。



こちらにもそうしたパターンの中の一つでありますけれども、世界の天女伝説、こちらはインドの天女の絵が描いてありますけれども、中国だとかにもあります。特に、東アジア系、大体話が共通していますよね。中国ですと、天の川を挟んで彗星と織姫星、牽牛伝説と結び付いている訳です。ですから、牛飼いの男が降りてきた天女の羽衣を隠してしまうと。その後、結婚できるよと教わっていたんですけども、正直者でございまして、実はかくかくしかじかだと。そう言って羽衣を返す訳であります。そうすると男が非常に真正直な人だなということで、ちゃんとその後、結婚をする訳です。その後、天の方に呼び返される訳ですね。元々、錦を織り込む、そういう職人的な女性だったんです。その関係で帰っ

て来いと呼び返される訳であります。後を追っかける訳ですね。牛の剥いだ皮に乗って、それで天へと飛び立って、追いかけていくと。それでまた天で結ばれる訳であります、やはり引き裂かれまして、年に一度だけ七夕の日に会っていいということでありまして、この羽衣伝説が、あの彦星、織姫の伝説と結び付いたりしているということです。こういうように、世界中に同じようなことが共通している訳ですよ。日本の中でも、ここ鳥取県の湯梨浜町だけではなくて、色々な伝承があります。関金で採集された説話、口伝えに伝わっているお話から言えば、結ばれた娘はお倉とお吉といったと。お倉の方が太鼓を叩きまして、お吉の方が笛を吹いたと。それで、一生懸命にお母さん帰ってくれと言う訳であります、母親はどこ吹く風で、再び見つかった羽衣で天に上がっていくと。あれは不思議なもので、羽衣を着るととたんに変わるんですね。人間の心が捨てられて、共通して鳥のように、ただ天を目指して飛んでいくというのが大体のパターンでございまして、そういうことで天へ天へと昇っていくと。お倉とお吉は、お父さんに顔向けができないものですから、そのまま住んだ町が倉吉だとかというような話で伝わっていると。羽衣石も、羽衣石に隠してあったという意味での羽衣石だというように伝わったり、外道山も何と見えなくしている外道の山だろうということで名前が付いたとか、そういう地名の由来譚にもなっているというようにお話でございまして、そんなように、各地に伝わっている話との共通性がある訳であります。あんまり道徳的な話でもないんですよ、本当は。だって、水浴びをしているきれいな女性の衣を隠してしまうということですから、今風に言ったら変なおじさんでございまして、ただ、昔、なぜかこの話が世界中に、同じように伝わる訳ですよ。おそらく、空を羽ばたく鳥に対する憧れだとか、そんなようなことがあって、こういう飛天の像が描かれていますけども、場合によっては宗教と結び付いたりして伝わっていったのかもしれませんが。ここ湯梨浜も天女の子孫が多いものですから、今日もきれいな人ばかりでありますけれども、そんなような楽しい伝説もある。



最近、まんが王国というようなことをやっています。まんが王国の守り神がバードプリンセスという、これはまた、鳥だか人だかよく分からないキャラクターが出て賑やかしている訳であります、この度は、トリンドルさんもですね、こちらの同じ舞台に来られました。皆さんも来られた方がいらっしやるかもしれませんが、こうして特別住民票というのを渡されまして、ここの町民になったということでございますし、あの時は土地の名産品を差し上げたり、はわい温泉・東郷温泉に3年間泊まっていたという許可証といいますが、チケットをもらったりしていました。実はこの間もトリンドルさんが来られまして、たいへん喜んでいましたね。特に、温泉に泊まれるというのは、結構気に入っておられま

して、ご自身でもブログに、はわい温泉の看板を出されました。今、はわい温泉とって有名なのは、はわいのお風呂よりも看板の方が全国的に有名でございまして、看板の方が名所になっているかもしれませんが、色々な効果が出たと思います。これですね。これが有名なはわい温泉の看板ですが、トリンドルさんも、あんなに大きなものだと思わなかったというふうに言っていました。先程申しましたように、二十世紀梨であるとか、シジミ、ヤマトシジミですね、こちらの場合は、梨は鳥取のシンボルでもありますし、梨については今、新甘泉とか、そういう新しい品種も出始めている訳であります。山陰東郷、山田錦にこだわって造っておられる地元のお酒であります。或いは、野花豊後、こういう花火、水郷祭ですね。それから、四ツ手網のところ。こういうすばらしい日本の故郷がここには詰まっているということです。

そういう中で、今日、これから皆さんがご議論されるのは、天女をキーワードとしてやっていこうかということですが、是非ですね、県としてもそうした動きを応援していきたいと思えます。健康づくりのウオーキングであるとか、おいしい食べ物であるとか、或いは東郷湖周の散策ができるようなコースの設定、私ども県の方で言いますと、ちょっと気になっておりますのは、洪水が起きて水があふれるということが時々あります。昔と違ひまして、東郷ダムができて大分良くなったと思えます。ただ、先般の台風の時に増水して、松崎などで浸水がありましたが、この近所でも羽合地区も水が行きました。私もその時参りましたけれども、千年亭さんに行く橋が架かっている、太鼓橋が架かっている手前のところで、トラックが水の中に浸かって動けなくなっちゃったんですね。バッテリーがあがっちゃいまして。それを一生懸命、私も当時、防災服を着ていたものですから、水に浸かりながら押していたら、実はこれが毎日新聞に出ました。毎日新聞の全国の写真ニュースのところ、「トラックを押す人々」とかいって私も入ってございましたけれども、まさかあれがああ平井だとは誰も思わなかったと思うんですが、そんなようなことで思い出深いですけれども、これが何回も続くのはどうかと。地元の方々とお話をさせていただいて、例えば松崎のところには、従来よりも水辺のところの嵩上げをするような形の堤防というか、堤防なんですけれども、あまり景観の邪魔にならないようなものを考えてみようかということは今、話しております。ご相談はいったと思えます。また、こちらのはわい温泉の方に行きますと、道が走っていますけれども、道を嵩上げすることによりまして、それで水が行くのを防ぐというような、どちらかと言うと緩やかで自然な形、地元のこのすばらしい自然や景観にマッチした形をやってみようかということを考えております。そういう我々県の方でもやらなきゃいけないことも含めて、一緒になってまちづくりを応援させていただければと思えます。



色々な名物料理、これは養生館のものでございますが、今回は「シジミのすり流し」とか言っていますが、数年前は「鯉めし」、鯉ごはんですね。これも賞を取られました。これは結構おいしかったですね。鯉の皮を剥いたような、それをきざみまして、後、鱗が入っていたんですかね。ちょっと食感があるような、そういうようなものを発明されまして、作られました。この度は、シジミに手長エビ、こんなような料理を作られたりしました。

それから、ご当地グルメということですが、最近、B級グルメが流行りなんですね。隣の岡山県とも、ご当地グルメ同盟というものを結びました。そしたら知事が変わって、今度は天満屋さんになっちゃったんですけれども、天満屋の社長にね。天満屋の社長がB級グルメをやるかなと。これから話し合わなきゃいけないですけども、こちらにも牛骨ラーメン、更田食堂さんとかございますよね。そういうものを売り出そうかということをやっている訳です。ただ、ビックリしたのがこれですね。「あいすらんど」だとか言い始めた訳です。アメリカのハワイでもなくて。「ゆりはまをあいすらんど」とか言いまして、アイスクリームを作ってこられました。私も出合ってビックリしたのが、このシジミですね。シジミの味噌汁のアイスクリーム。これ結構おいしいですよ。微妙なんですけども。とっても味噌の風味がございまして、こういうものがアイスになるのかなと思いついて食べておりました。もちろん、地元のクレオパトラとか、黒豆を使ったりだとか、そんなような色々なアイスが出てきています。



食べ物の魅力は大事でして、和牛でも今、勝負をかけて、オレイン和牛、オレイン55ということでやっていますが、今度、12月2日には東京の築地の方に行きまして、ハタハタで秋田県と対決をしようということになりました。実は、秋田の佐竹知事さんと話をするんですけども、どうしても話が合わないのが、どちらのハタハタがおいしいかということでございまして、それでは一度勝負をしようということで去年もやったんです。東京の麻布十番という街だったのですが、そしたら佐竹さんというのはお殿様の末裔なんですよ。佐竹藩、角館の。ですから、非常に上品な方でいらっしやいまして、一緒に舞台上がって対決をすると、お互いのハタハタを食べた後、佐竹知事の方から「やあ、平井さん、鳥取のハタハタはうまいねえ。」という訳ですよ。そう言われるとこちらもしょうがないものですから、「秋田のハタハタもおいしいですなあ。」と。これで引き分けになっちゃったんですね。今年、もう一回やることになりましたけど、勝負がつくかどうか分かりませんが、今年鳥取の応援団でさかなクンが来ることになりました。まあ、どうでもいいことではありますが、そんなようなハタハタとかもやろうと。今年、両県のハタハタが食べられるお店として、帝国ホテルのレストランだとか、そうしたところも入っていますし、鳥取のハタハタを出すのは、炉端かばさんとか、稲田屋さんとか、このあ

たりは結構東京に出ているんです。そうしたところでも出させていただこうとしています。こんなようなことで、ハタハタの対決をやろうということなど、食の魅力をやろうと。

ここにありますように、野花豊後がお酒になっていると。梅津酒造さんと結び付きまして、そんなようなものを造ったりとかしている訳であります。また、こうした農業などの産業は、今、観光にも結び付くだろうと。結構評判良かったのは、この梅の散策ツアーでございました。こういう選果場見学ツアーも、地元を象徴するものとして好かれるものだと思います。後、この近所では、やはりスイカの選果場ツアーとか、そういうようなこともされるようになりました。

泊は、我が県で初めて風力発電ができたところでありまして。それが今ではどんどん広がりまして、鳥取県の中、たいへん再生可能エネルギーが増えてきました。メガソーラーというような話も出ていまして、来年の秋ぐらいには米子でできると思いますが、多分一番初めにできるのは、隣の北栄町に造っているものかなと思います。それと日南とが早めにできるメガソーラーになるんじゃないかというふうに思います。ここ湯梨浜でも、我々のプロジェクトとして一緒にやっておりますのは、温泉から発電できないかなということ。結構調べたんですけども、少し今、中断しています。何故かという、ものすごくプラントにお金がかかるんですね。そのプラントがもう少し使いやすい、要は値段がリーズナブルな発電プラントが近々できるようなので、それを見てもう一回考えようかということにしておりますが、こういうものをバイナリー発電と言うんです。沸点が、沸騰する温度が低い、そういう媒体を使いまして、それでタービンを回す。そういうようなことを考える訳であります。

北東アジアゲートアウェイ、海外からのお客様がどんどん入ってくるようになりまして、国際リゾートとしての風格が出始めています。特に、韓国人が鳥取県は圧倒的に多いです。中国5県で比べますと、鳥取は本当に韓国の割合が高い。特に、湯梨浜町内は韓国の割合が高いですね。その一つの背景としては、こういうまんがを活用した観光ということもありまして、先般もアニソンのお祭りがこの会場で行われました。



マンガサミット、これも各国からお客さんが来ました。先程、里中 満智子先生のメッセージが出ておりましたけれども、里中先生とちばてつや先生、このお二人が実行委員会の委員長さんと幹事長をされまして、今回のサミットを実施された訳です。それで、色々県内を見ていただいたりしました。海外からのお客様も県内各地を回られまして、非常に素晴らしいところだと鳥取が気に入って帰って行かれました。実は、海外の有名な漫画家も来ているんですね。韓国でイヒョンセさんという漫画家もこちらの方に来ていました。こちらにいる韓国人は、ものすごくビックリするような方でありまして、たい

へんに迎える方の韓国を知っている人は喜んでおられました。或いは、こういうご時世でありますけれども、中国からもシュウタオさんという向こうのトップの方も来られていましたし、滞りなくこのマンガの祭典を実施することができたと思います。

その一環で11月10日、11日に中華コスプレ大会を当地でもされました。私も来たんですけども、例年になく熱気があったように思いますね。参加者も徐々に増えてきているのではないのでしょうか。国から言っても、中国だけではなくて、韓国だとか、それから台湾の方もいましたし、今回は香港も入っていましたね。そういうように、だんだんとエリアが拡大してきて、いい傾向が出てきているのかなと思います。また、意外に需要があるなと思っているんですけども、コスプレコンシェルジュでございまして、元々は中華コスプレ大会に来られていた北海道から移住された方が中心になってされた訳です。聞いてみて突拍子もない相手かなと思っていたんですけども、ただ、来られる人にとって、例えば湯梨浜町内の滝壺とか、そうした色々なスポットで撮影をするということがたまらなくうれしいようなんですね。やはり、コスプレを作られる、結構手作りで作られます。そういうものを着てみたところを写真に撮りたいという、そういう遊びなんですよ。その写真を撮れるところが、なかなか街中で撮る訳にならないものですから、皆さんが、言わば応援してくれるようなところで撮れるというのがうれしいようなんです。そんなことで、こういうコンシェルジュツアーというのも、結構順調に動き始めたように思います。

また、クリエイターが育ち始めていまして、これは皆生のものなんですけれども、皆生温泉の海岸のところにこういうブラックアートと言いまして、夜、光を当てると浮かび上がる、そういう絵であります。これを描いたのは、琴浦町の19歳の女性なんですけども、この方は「花とゆめ」という少女雑誌にこの度掲載されています。そういうように、新しい作家さんがこのまんが博をきっかけにして生まれてきている訳であります。ガイナックスという、エヴァンゲリオン、今、Qが映画上映されていますが、そのエヴァンゲリオンなどを送り出したガイナックスさんだとかも、鳥取の方にやってきていると。先程申しました韓国からのお客様ですね、やはり多く来るのは、向こうでよく宣伝しているというのもあるんです。特に、この湯梨浜町内の旅館さんでテレビショッピングとかもやりまして、増やしてきたのもありますし、後、鳥取中部国際観光サポートセンターというものをつくりまして、ここでロケ地ツアー

をやりましたら、昨年度、実に1,560人の外国人、韓国の人が多いんですが、来られたと。アテナというドラマが、向こうでも結構視聴率もありまして、前作のアイリスほどではないんですが、それに準じたような効果が出た訳であります。残念ながら東日本大震災がやってきて、私たちが期待していた効果が100%出ずにブームが終わってしまったような感じもあるんですが、いずれにいたしましても、これは町内の望湖楼さんで撮られたシーンでありますし、この近所を色々で紹介する場面があります。やっぱり、こういうロケというのはたいへんなものだなと思いました。特に、日本と韓国と撮り方が違うんですね。韓国は割とその場その場で思い付いて、色々なことを始める訳です。ちょっと船を用意してほしいと。アクションドラマですから。燃やしてもいい船をとか、車10台、黒い車がいいです。ぶつけてもいいものとか。これは集める方がたいへんでありまして、そんなようなことを大騒ぎしながらやっていました。実は、後日談がありましてね。これが、チョンウソンさんという方なんですけども、このドラマが向こうで放映された後に、芸能界最大のスキャンダルのことがあったんです。スキャンダルというか、色恋話なんですけども、このチョンウソンさん、これはスエさんという主演女優さんでありますけれども、もう一人イジアさんという助演の女優さんも来ていたんですね。そしたら、このチ

ョンウソンさんとイジアさんという女優さんがラブラブになったということなんです。ところが、ラブラブになって、その後、イジアにチョンウソンが捨てられると、そういうオマケがついて、そういうようなことでどんだんスキャンダルの的に展開していった、非常に向こうで話題になったと。実は、私も後で聞かされたんですけども、チョンウソンさんの泊まっている部屋には決して近づくなというふうには言われていたということがありました。そのようなロマンスの地になったということだと思います。

それからこれは倭文神社。これもロマンチックな話ですよ。下照姫のお話でございますけれども、出雲の方を見やったという展望のいい丘も湖のほとりにあったりします。縁結びの作法なども楽しい味付けだと思いますし、若い方々を元気にしようとドラゴンカヌーの話もありますし、実は、この東郷湖羽合臨海公園でローラースケートができる、ブレードだとか、そういうことができるような施設を整備している訳であります。これも若い人たちの提案から生まれた話でありました。これは倉吉ですが、梅南香ツインズという湯梨浜のダンサーなんかも参加したイベントが開かれたりしました。

また、こういう中国との交流行事であるとか、映画を街中で撮るということが中部でも賑やかにされていますし、湯梨浜の町民ミュージカル、これも本当に有志を集めて手作りですが、元気な皆さんたちがやられています。また、アーティストリゾートとして、桜小学校の跡には結構アーティストが入れるようになっておられますし、これは鳥の劇場などが関わっているんですが、倉吉の明倫地区のプロジェクトでも出身の方が関わっておられます。

支え愛、こういう温かい結び付きでも、こういう生き生きクラブの皆さんが、不思議な話でありますけれども、若手老人と超高齢者という区分けをされて、それぞれにプロジェクトをやっておられまして、楽しんでおられるということでもあります。

県でも総合ボランティアバンクを作って、そういう支え愛を広げようとしています。



この度は、「水と緑のオアシスとっとり2013」という全国都市緑化フェア、サブ会場が東郷湖羽合臨海公園になりました。9月21日から11月10日であります。こういうカラーリーフガーデンと言われるようなサブ会場のプランも今、進めていますし、これはあやめ池公園のところでもあります、

樹林のシェードガーデン、いにしへの彩り回廊、こうしたようなことを今、検討しているところであります。ぜひ、皆さまもご参加いただければと思います。

来年は、緑豊かな鳥取をアピールする大会を全国植樹祭やエコツーリズム国際大会として展開しているとしております。そういう緑の中でウォーキングですね。先程申しましたノルディックウォークもそうでありまして、100kmウォークというグランドスラムの大会、これも東郷温泉に泊まられまして、そして皆さんが海外との交流も楽しまれたところであります。

もちろんグラウンド・ゴルフもここの発祥でございまして、これは全国で非常に流行ったスポーツになりました。

今日、皆さまは色々これから話し合いを進められると思います。「未来は偶然手に入るものではない。自分の未来は自分で創るものである。」こういうように、GMの会長、ロジャー・スミスさんがおっしゃっておられました。ぜひ、皆さまの手で湯梨浜の未来を勝ち取っていただきたいというふうに思います。本日は、本当におめでとうございました。

○中本企画課長

ありがとうございました。

その地域らしい魅力あるまちづくりを進めるためには、自然、歴史、文化、観光など、地域にある様々な地域資源の活用はもとより、それを有機的につなぐ総合的な取り組みが必要であることを改めて感じました。

本日は、お忙しい中、平井知事さまには魅力あるまちづくりのあり方について、貴重なお話をおうかがいすることができました。今一度、盛大な拍手をお願いしたいと思います。(拍手)